

# 検査内容変更のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をご案内いたします。

健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

## 記

### ◆実施日

2021年9月3日(金)ご依頼分より

\*容器変更(容器記号U00)については9月3日(金)より順次変更させていただきます。

\*染色体項目、白血病キメラ遺伝子検査(定性)の報告書変更については、9月6日(月)ご報告分より変更させていただきます。

### ◆変更項目

●肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	●ETV6-RUNX1 mRNA定性
●Dダイマー	●KMT2A-AFF1 mRNA定性
●フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析	●KMT2A-AFDN mRNA定性
●サイトメガロウイルス IgG	●KMT2A-MLLT3 mRNA定性
●サイトメガロウイルス IgM	●KMT2A-MLLT1 mRNA定性
●プロプラノロール	●DEK-NUP214 mRNA定性
●L-ドーパ	●ヒトパルボウイルスB19DNA 定性
●セロトニン	●アデノウイルスDNA 定性
●塩基性フェトプロテイン(BFP)	●単純ヘルペスウイルスDNA 定性
●シアリルLe <sup>x</sup> 抗原 (CSLEX)	●水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性
●亜硝酸/硝酸イオン	●サイトメガロウイルスDNA 定性
●Major BCR-ABL1 mRNA定性	●ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性
●minor BCR-ABL1 mRNA定性	●ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性
●TCF3-PBX1 mRNA定性	●ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA
●PML-RARA mRNA定性	●末梢血液一般検査 (赤血球数(RBC)、血色素量(Hb))
●CBFB-MYH11 mRNA定性	●染色体項目
●RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	●U00 (旧Y) 使用項目
●RUNX1-MECOM mRNA定性	●尿中一般検査



## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考	
26165	肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	項目コード	0B45 2	2616 5	全自動測定機器 へ搭載可能な試 薬へと変更させ ていただきます 。	
		検査方法	CLEIA	EIA		
		報告範囲	15.0未満、 15.0~99900000	17.2以下、 17.3~99900000		
		単位	変更はありません	ng/mL		
		検体量 (mL)	0.5	0.2		
		JLAC10	3F253 0000 023 052	3F253 0000 023 023		
51282	Dダイマー	項目コード	0B44 5	5128 2	検査項目統合の ため、試薬を変 更させていただきます 。	
		基準値	1.0以下	1.0未満		
		単位	変更はありません	μg/mL		
		報告範囲	0.5未満、 0.5~29.9、 30.0以上	0.10以下、 0.11~29.99、 30.00以上		
		報告桁数	有効3、整数6、 小数1	有効4、整数5、 小数2		
52328	フォン・ウィルブランド 因子マルチマー解析	項目コード	0B34 0	5232 8	全自動測定機器 へ搭載可能な試 薬へと変更させ ていただきます 。	
		検体量 (mL)	0.4	0.5		
		所要日数 (日)	7~11	7~13		
		名 称	分画子1	変更はありません		LARGE マルチマー
			分画子2	変更はありません		MEDIUM マルチマー
分画子3	変更はありません		SMALL マルチマー			
分画子4	削除		SMALLEST マルチマー			

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
51331	サイトメガロウイルス IgG	項目コード	0B413	51331	全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。
		検査方法	CLIA	EIA	
		基準値	6.0未満 陰性	2.0未満 陰性	
		単位	AU/mL	なし	
		報告範囲	6.0未満、 6.0～249、 250以上	2.0未満、 2.0～127、 128以上	
		報告桁数	有効3、整数8、 小数1	有効3、整数5、 小数1	
		検体量 (mL)	0.5	0.2	
		備考欄	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載)	下記参照 (*固相法) (*固相法(髄液の測定も可能です 検体量0.4mL(冷蔵)基準値 0.20未満 陰性))	
		案内書欄外	※P.7に判定基準についての説明を記載していますのでご参照ください。		
		JLAC10	5F194 1431 023 051	5F194 1431 023 023	
		名称	分画子1	CMVlgG 抗体	
分画子2	判定		なし		

# ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
R621 1	サイトメガロウイルス IgM	項目コード	0B38 9	R621 1	全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。
		検査方法	CLIA	EIA	
		基準値	0.85未満 陰性	0.80未満 陰性	
		単位	Index	なし	
		報告範囲	0.10未満、 0.10～99900000	0.00～99.9	
		報告桁数	有効3、整数8、 小数2	有効3、整数2、 小数2	
		検体量 (mL)	0.5	0.2	
		備考欄	下記参照 (判定基準は、案内書欄 外に記載)	下記参照 (*捕捉法) (*捕捉法〔髄液の測定 も可能です 検体量0.4mL(冷蔵)基 準値 0.80未満 陰性))	
		案内書欄外	※P.7に判定基準についての説明を記載していますのでご参照ください。		
		JLAC10	5F194 1432 023 051	5F194 1432 023 023	
		名称	分画子1	CMVlgM 抗体	
分画子2	判定		なし		

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
5096 2	プロプラノロール	所要日数 (日)	4~17	4~10	
0971 9	L-ドーパ		5~18	5~11	
0145 2	セロトニン		3~7	3~6	
5630 8	塩基性フェトプロテイン (BFP)		2~8	2~4	
2241 1	シアリルLe <sup>x</sup> 抗原 (CSLEX)		2~8	2~6	
2390 4	亜硝酸/硝酸イオン		3~16	3~9	
6324 2	Major BCR-ABL1 mRNA定性	報告書	フォーマットを変更いたします		
6325 0	minor BCR-ABL1 mRNA定性				
2498 6	TCF3-PBX1 mRNA定性				
6321 1	PML-RARA mRNA定性				
2734 5	CBFB-MYH11 mRNA定性				
6010 7	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性				
6016 1	RUNX1-MECOM mRNA定性				
2307 6	ETV6-RUNX1 mRNA定性				
2293 2	KMT2A-AFF1 mRNA定性				
M498 9	KMT2A-AFDN mRNA定性				
2294 0	KMT2A-MLLT3 mRNA定性				
2295 7	KMT2A-MLLT1 mRNA定性				
6039 3	DEK-NUP214 mRNA定性				

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容		新	現	備考
6323 5	ヒトパルポウイルス B19DNA 定性	検体量 (m L)	血清	0.7	0.5	適正な検体量 へ変更いたします。
6817 7	アデノウイルスDNA 定性		部分尿	0.7	0.5	
5426 9	単純ヘルペスウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
6819 1	水痘・帯状疱疹ウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
5427 6	サイトメガロウイルス DNA 定性		髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
			部分尿	0.7	0.5	
6316 1	ヒトヘルペスウイルス 6型DNA 定性		血清	0.7	0.5	
			髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
2333 3	ヒトヘルペスウイルス 7型DNA 定性		血清	0.7	0.5	
			髄液	0.7	0.5	
			組織	50 (mg)	5 (mg)	
6823 3	ニューモシスチスカリニ (P.jirovecii)DNA		肺胞洗浄液	0.7	0.5	
			胸水	0.7	0.5	

## ● 変更一覧表

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	備考
OB036	末梢血液一般検査 (分画子2:赤血球数 (RBC))	報告範囲	1未満、 1~99999900	1未満、 1~99999999	適切な報告範囲へ変更いたします。
		報告桁数	有効6、整数8、 小数0	有効8、整数8、 小数0	
	末梢血液一般検査 (分画子3:血色素量 (Hb))	報告範囲	0.2未満、 0.2~999999.9	0.1未満、 0.1~999999.9	
		報告桁数	変更はありません	有効7、整数6、 小数1	
—	染色体項目	報告書	フォントをMS明朝からMSゴシックへ変更し、 押印欄を削除し、検査者名、責任者名を印字いたします。		
—	U00 (IBY) 使用項目	容器	容器コードU00 (IBY)について、新容器の取り扱いを開始します。		順次変更
OB220	尿中一般検査	容器	容器コードA00 (IBX)からU40 (IBY4)へ容器を変更いたします。		

### ※サイトメガロウイルスIgG・サイトメガロウイルスIgMの判定基準

#### ● サイトメガロウイルスIgG・サイトメガロウイルスIgMの判定基準

判定	IgG (AU/mL)	IgM (IndeX)
陰性	6.0未満	0.85未満
判定保留		0.85~1.00未満 <sup>※2</sup>
陽性	6.0以上 <sup>※1</sup>	1.00以上

※1：6.0~15.0 AU/mLの結果値の際には、適切な期間（例：2週間）内に再採取し再検査をお勧めします。

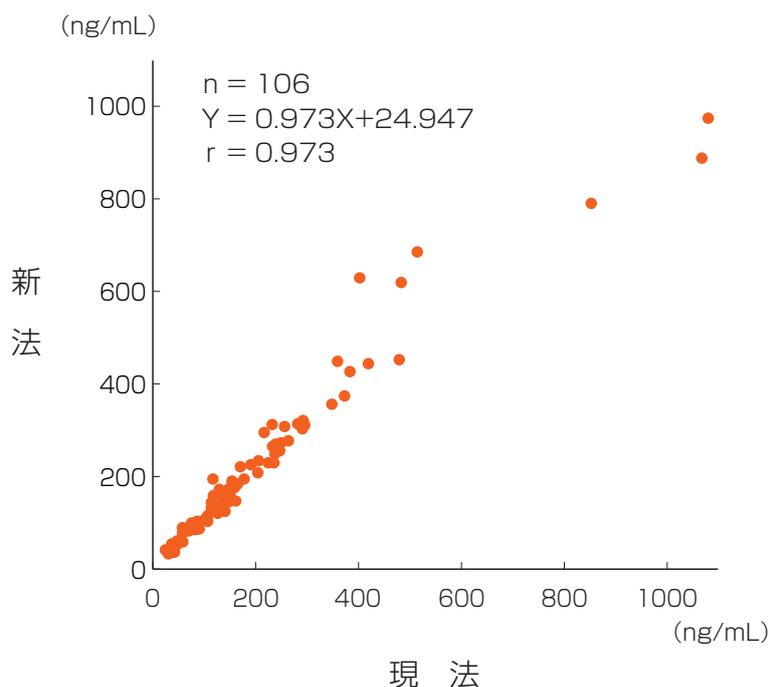
※2：判定保留の際には、適切な期間（例：2週間）内に再採取し再検査をお勧めします。

## ●肺サーファクタント プロテインD (SP-D)

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
これに伴い、項目コード、検査方法、報告範囲、検体量、JLAC10が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
26165	肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	項目コード	0B45 2	2616 5
		検査方法	CLEIA	EIA
		報告範囲	15.0未満、 15.0~99900000	17.2以下、17.3~ 99900000
		単 位	変更はありません	ng/mL
		検 体 量 (mL)	0.5	0.2
		JLAC10	3F253 0000 023 052	3F253 0000 023 023

### ▶ 現法と新法の比較



### ●検査方法参考文献

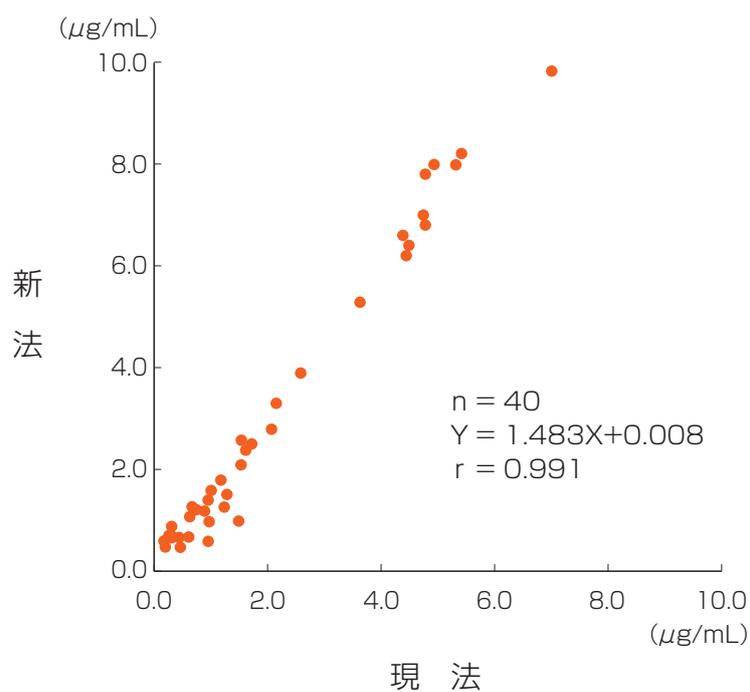
土居 耕介, 他: 医学と薬学 78 (3) : 261~267, 2021.

## ● Dダイマー

検査項目統合のため、試薬を変更させていただきます。  
これに伴い、項目コード、基準値、報告範囲、報告桁数が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現
5128 2	Dダイマー	項目コード	0B44 5	5128 2
		基準値	1.0以下	1.0未満
		単 位	変更はありません	μg/mL
		報告範囲	0.5未満、 0.5~29.9、 30.0以上	0.10以下、 0.11~29.99、 30.00以上
		報告桁数	有効3、整数6、小数1	有効4、整数5、小数2

### ▶ 現法と新法の比較



### ● 検査方法参考文献

大石 彩, 他: Sysmex Journal Web17 (4) : 1~10, 2016.

## ●フォン・ウィルブランド因子マルチマー解析

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。  
 自家調製試薬を使用した測定系からキット化された試薬へ変更することで、データの安定性を保ちます。  
 これに伴い、項目コード、検体量、所要日数、報告形態(分画子構成)が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	
5232 8	フォン・ウィルブランド 因子マルチマー解析	項目コード	0B34 0	5232 8	
		検体量 (mL)	0.4	0.5	
		所要日数 (日)	7~11	7~13	
		名称	分画子1	変更ありません	LARGE マルチマー
			分画子2	変更ありません	MEDIUM マルチマー
分画子3	変更ありません		SMALL マルチマー		
分画子4	削除		SMALLEST マルチマー		

### ▶ 現法と新法の比較

相関一致表

		現 法	
		NORMAL	ABNORMAL
新 法	NORMAL	20	1
	ABNORMAL	0	9

判定一致率：96.7% N=30

### ●検査方法参考文献

Susan Oliver, et al: international journal of laboratory hematology 41 (6) :762~771, 2019.

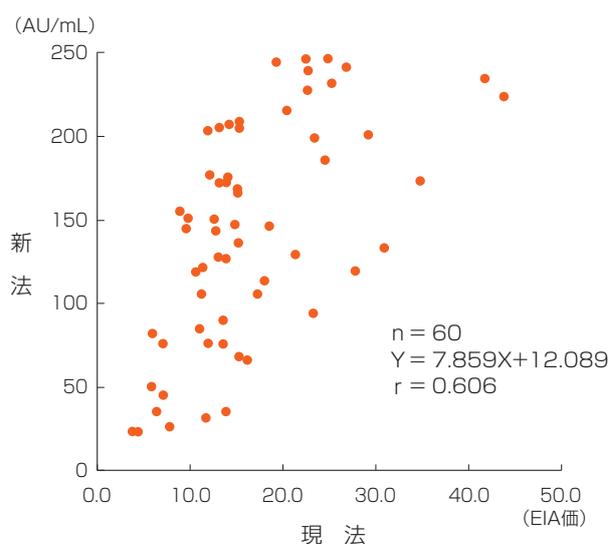
## ● サイトメガロウイルス IgG

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、単位、報告範囲、報告桁数、検体量、備考欄、案内書欄外、JLAC10、報告形態(分画子)が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	
5133 1	サイトメガロウイルス IgG	項目コード	0B41 3	5133 1	
		検査方法	CLIA	EIA	
		基準値	6.0未満 陰性	2.0未満 陰性	
		単位	AU/mL	なし	
		報告範囲	6.0未満、 6.0~249、 250以上	2.0未満、 2.0~127、 128以上	
		報告桁数	有効3、整数8、小数1	有効3、整数5、小数1	
		検体量 (mL)	0.5	0.2	
		備考欄	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載)	下記参照 (*固相法) (*固相法〔髄液の測定も可能 です 検体量0.4mL(冷蔵)基準 値 0.20未満 陰性))	
		案内書欄外	※P.7に判定基準についての説明を記載していますのでご参照ください。		
		JLAC10	5F194 1431 023 051	5F194 1431 023 023	
		名称	分画子1	CMVlgG抗体	なし
分画子2	判定		なし		

### ▶ 現法と新法の比較



### ● 相関一致表

		現法		
		-	±	+
新法	-	27	2	0
	±	0	0	0
	+	0	1	87

一致率: 95.3% (N=117)

### ● 検査方法参考文献

熊田 洋高, 他: 医学と薬学 72 (6) : 1087~1094, 2015.

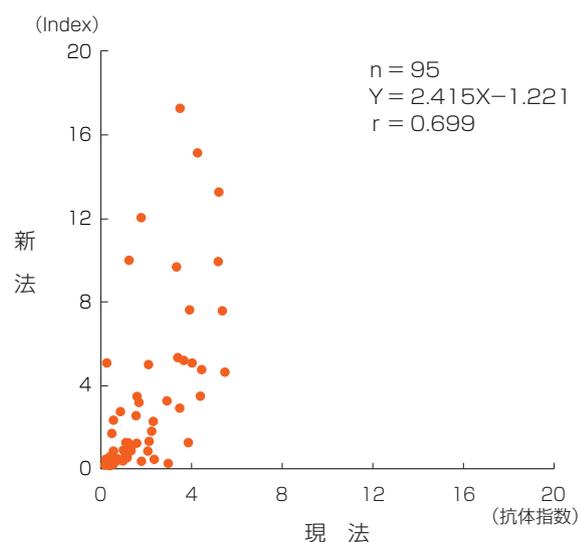
# ● サイトメガロウイルス IgM

全自動測定機器へ搭載可能な試薬へと変更させていただきます。

これに伴い、項目コード、検査方法、基準値、単位、報告範囲、報告桁数、検体量、備考欄、案内書欄外、JLAC10、報告形態(分画子)が変更となります。

項目コード	検査項目	変更内容	新	現	
R621 1	サイトメガロウイルス IgM	項目コード	0B38 9	R621 1	
		検査方法	CLIA	EIA	
		基準値	0.85未満 陰性	0.80未満 陰性	
		単位	Index	なし	
		報告範囲	0.10未満、 0.10~99900000	0.00~99.9	
		報告桁数	有効3、整数8、小数2	有効3、整数2、小数2	
		検体量 (mL)	0.5	0.2	
		備考欄	下記参照 (判定基準は、案内書欄外に記載)	下記参照 (*捕捉法) (*捕捉法〔髄液の測定も可能です 検体量0.4mL(冷蔵)基準値 0.80未満 陰性])	
		案内書欄外	※P.7に判定基準についての説明を記載していますのでご参照ください。		
		JLAC10	5F194 1432 023 051	5F194 1432 023 023	
名称	分画子1	CMV IgM抗体	なし		
	分画子2	判定	なし		

## ▶ 現法と新法の比較



### ● 相関一致表

		現法		
		-	±	+
新法	-	68	6	6
	±	0	1	1
	+	2	2	29

一致率: 85.2% (N=115)

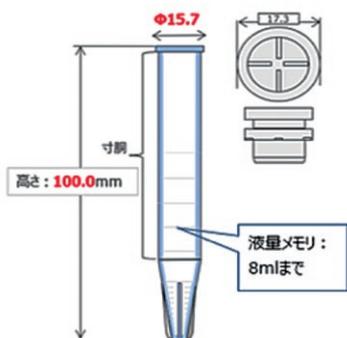
### ● 検査方法参考文献

熊田 洋高, 他: 医学と薬学 72 (6) : 1087~1094, 2015.

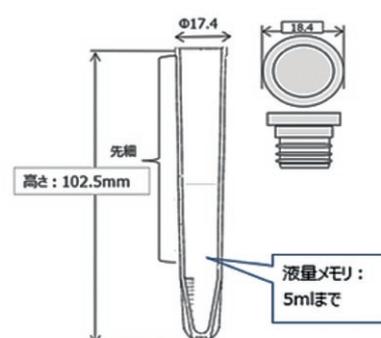
## ● U00容器

「U00」(旧Y)について、現在、ご利用いただいているポリスピッツ容器の材質、形状を変更し、新ポリスピッツ容器の取り扱いを開始いたします。なお、現行容器については、2021年11月ごろに、発売中止を予定しています。

### 〔新容器〕



### 〔現容器〕



容器	新ポリスピッツ容器	現ポリスピッツ容器
材質	キャップ：PE 本体：PP	キャップ：PE 本体：PE
形状	テーパーほぼ無し (寸胴形状)	テーパーあり (先細り形状)
液量メモリ	1mLまで100μL毎 1mLから8mLまで1mL毎	1mLまで100μL毎 1mLから5mLまで1mL毎
内容量	9mL	10mL

## ● 尿中一般検査

「尿沈渣」と同時受けが多い項目のため、利便性を考慮し尿沈渣容器(U40 旧Y4)へ変更させていただきます。

### 〔新容器〕



名称：尿中一般、  
尿沈渣用スピッツ  
新容器記号：U40  
旧容器記号：Y 4  
貯蔵方法：室温  
容量：10mL

### 〔現容器〕



名称：ポリスピッツ  
新容器記号：A00  
旧容器記号：X  
貯蔵方法：室温  
容量：9mL

# 白血病キメラ遺伝子検査 (定性)

報告書のフォーマットを変更させていただきます。用紙サイズは、A5からA4に変更となります。なお、報告内容に変更はございません。

項目コード	検査項目	項目コード	検査項目
6324 2	Major BCR-ABL1 mRNA定性	2307 6	ETV6-RUNX1 mRNA定性
6325 0	minor BCR-ABL1 mRNA定性	2293 2	KMT2A-AFF1 mRNA定性
2498 6	TCF3-PBX1 mRNA定性	M498 9	KMT2A-AFDN mRNA定性
6321 1	PML-RARA mRNA定性	2294 0	KMT2A-MLLT3 mRNA定性
2734 5	CBFB-MYH11 mRNA定性	2295 7	KMT2A-MLLT1 mRNA定性
6010 7	RUNX1-RUNX1T1 mRNA定性	6039 3	DEK-NUP214 mRNA定性
6016 1	RUNX1-MECOM mRNA定性		

## 報告書比較

〈新報告書見本〉

**検査報告書**  
0101-0217 0561-56103-02920

---

氏名: 山手 隆夫  
性別: 男性  
年齢: 45歳  
採血日: 03年 01月 01日

病名: 急性骨髄性白血病  
検査日: 03年 02月 18日

---

**検査項目** MAJ BCR-ABL1 RT

**結果** BCR-ABL1 mRNAを検出しました。

M: サイズマーカー (1Kb Plus DNA Ladder)

1: 陰性コントロール

2: 検体

増幅バンドサイズ

A: BCR-ABL1 mRNA 371, 446 bp

B: ACTB mRNA 279 bp

<方法>

RNA抽出

cDNA合成

Nested PCR

電気泳動

写真撮影

判定

---

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)

TEL: 042-646-5911

SIRIL 株式会社 エスアルエル  
八王子ラボ 東京都八王子市小宮町51番地  
検査責任者 和田 かおり

〈現報告書見本〉

**遺伝子検査報告書**  
0101-0217 0561-56103-02-02920

---

氏名: 山手 隆夫  
性別: 男性  
年齢: 45歳  
採血日: 03年 01月 01日

病名: RNA キメラ ヒョウイン  
検査日: 03年 02月 18日

---

**検査項目** MAJ BCR-ABL1 RT

**結果** BCR-ABL1 mRNAを検出しました。

M: サイズマーカー (1Kb Plus DNA Ladder)

1: 陰性コントロール

2: 検体

増幅バンドサイズ

A: BCR-ABL1 mRNA 371, 446 bp

B: ACTB mRNA 279 bp

<方法>

RNA抽出

cDNA合成

Nested PCR

電気泳動

写真撮影

判定

---

医療機関専用問い合わせ先 (データインフォメーション)

TEL: (042)646-5911 検査責任者 和田 かおり

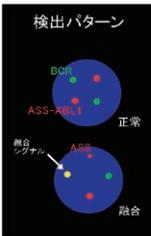
SIRIL 株式会社 エスアルエル  
八王子ラボ 東京都八王子市小宮町51番地

# 染色体報告書

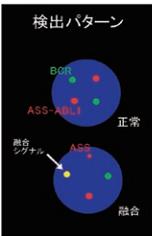
染色体報告書を変更させていただきます。  
 これに伴い、フォントがMS明朝からMSゴシックに変更となります。  
 また、押印欄を削除し、検査者名と責任者名を印字いたします。なお、報告内容に変更はございません。

## 報告書比較

〈新報告書見本〉

SIRIL 染色体検査報告書		20-12-03 0030-00-03000-02920	発行 02 年 12 月 03 日
病歴名 127-1111 LUSTER HP	院 名 5214 カルテNo. 4567891011	(入院米米)	提出者 特ダチ 先生
氏 名 F7H17 12240228-	期 日 22X 414	性別 M 30才	病 棟 4L3F その他
臨床診断名	受付No. 000017 検査No. 4SSL000100 検査番号 CO3-4SSL0001	採期 03 月 18 日 発病 月 日	
検査項目: BCR-ABL1 (FISH)		Case ID L200C03-4L0001	
検査結果 100細胞中、融合シグナルは 0.0%でした。			
			
正常間期核	検出パターン 正常 融合		
検査方法 プローブ: BCR:22q11.2/ASS-ABL1:9q34.1 (Abbott Molecular Inc.) 分析対象: 1個と認識できる間期核 100細胞以上 参照範囲: 健康人の偽陽性率 1.0%以下 (95%信頼範囲)			
検査者 高森英一		責任者 瀧口正隆	
		標本No. L200C03-4W0002	
発行 02 年 12 月 27 日			

〈現報告書見本〉

SIRIL 染色体検査報告書		20-12-03 0030-00-03000-02920	発行 02 年 12 月 03 日
病歴名 127-1111 LUSTER HP	院 名 5214 カルテNo. 4567891011	(入院米米)	提出者 特ダチ 先生
氏 名 F7H17 12240228-	期 日 22X 414	性別 M 30才	病 棟 4L3F その他
臨床診断名	受付No. 000017 検査No. 4SSL000100 検査番号 CO3-4SSL0001	採期 03 月 18 日 発病 月 日	
検査項目: BCR-ABL1 (FISH)		Case ID L200C03-4L0001	
検査結果 100細胞中、融合シグナルは 0.0%でした。			
			
正常間期核	検出パターン 正常 融合		
検査方法 プローブ: BCR:22q11.2/ASS-ABL1:9q34.1 (Abbott Molecular Inc.) 分析対象: 1個と認識できる間期核 100細胞以上 参照範囲: 健康人の偽陽性率 1.0%以下 (95%信頼範囲)			
検査者 高森英一		責任者 瀧口正隆	
		標本No. L200C03-4W0002	
発行 02 年 12 月 27 日			

<新報告書見本>

**SIRL 染色体検査報告書** 20-12-03 0030-00-03000-02920 受付 02年 12月 03日

病院名 I17-A11 LUSTER HP 院 科 名 産科 (外来) 提出医 杉野 先生  
カルテ No. 4567891011

氏 名 杉野 12990018- 院 科 産科 4L2F  
性別 女 年齢 30才 受付 No. 000002 検査 No. 4SSE000200  
臨床診断名 検査番号 003-4SSE0002 発症 11月 14日 発病 月 日

【検査項目】 ケアG. BAND-MDS Case ID E200003-4E0002  
【検査方法】 G-band バンドレベル: 300~550  
【培養方法】 PHA無添加 2.4.4.8時間培養  
【検査所見】  
(核型)  
46, XY[20]  
(分析) [細胞数]  
46, XY [20]

【総分析細胞数】 20  
【検査結果】 染色体異常は認められませんでした。(正常男性核型)  
【検査コメント】

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。  
検査者 春川純一 責任者 瀧口正隆  
標本 No. E200003-4W0002

報告 02年 12月 07日  
SIRL 株式会社 エスアール  
〒113-8501 東京都荒川区西日暮里5丁目1番10号  
電話 (042) 646-5911 和国かおり

<現報告書見本>

**SIRL 染色体検査報告書** 20-12-03 0030-00-03000-02920 受付 02年 12月 03日

病院名 I17-A11 LUSTER HP 院 科 名 産科 (外来) 提出医 杉野 先生  
カルテ No. 4567891011

氏 名 杉野 12990018- 院 科 産科 4L2F  
性別 女 年齢 30才 受付 No. 000002 検査 No. 4SSE000200  
臨床診断名 検査番号 003-4SSE0002 発症 11月 14日 発病 月 日

【検査項目】 ケアG. BAND-MDS Case ID E200003-4E0002  
【検査方法】 G-band バンドレベル: 300~550  
【培養方法】 PHA無添加 2.4.4.8時間培養  
【検査所見】  
(核型)  
46, XY[20]  
(分析) [細胞数]  
46, XY [20]

【総分析細胞数】 20  
【検査結果】 染色体異常は認められませんでした。(正常男性核型)  
【検査コメント】

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。  
検査者 春川 瀧口  
標本 No. E200003-4W0002

報告 02年 12月 07日  
SIRL 株式会社 エスアール  
〒113-8501 東京都荒川区西日暮里5丁目1番10号  
電話 (042) 646-5911 和国かおり

<新報告書見本>

**SIRL 染色体検査報告書(中間報告書)FISH** 20-12-03 0030-00-03000-02920

病院名 I17-A11 LUSTER HP 院 科 産科 (外来) 提出医 杉野 先生 受付 02年 12月 03日  
カルテ No. 4567891011

氏 名 杉野 12990018- 院 科 産科 4L2F 受付 No. 000108  
性別 女 年齢 30才 検査 No. 4SS0000200 検査番号 003-4SS00002

検査番号 711202012 3954GF 院 科 産科  
性別 女 年齢 30才 検査 12月 03日

【検査項目】 ケアG-BAND-FISH 妊娠週数 週 日  
【検査方法】 FISH  
【使用7-プローブ】 AneuVysion・DNA Probe kit (No.13・No.18・No.21・X・Y)  
プローブ販売元: Abbott Molecular Inc.

【検査所見】  
(シグナル検出状況) 染色体番号 13 18 21 X Y 細胞数  
シグナル 2 2 2 2

【総分析細胞数】 各プローブについて 100 細胞  
【検査コメント】  
13番、18番、21番、X染色体のシグナル数は正常範囲でした。

<注意事項>  
羊水 FISHは 13番、18番、21番染色体および X、Y染色体の蛍光プローブを用い異数性の有無を判定いたします。この方法は、短期間で結果が得られますが使用プローブ以外の異数性、構造異常については判定できません。検査結果の解釈については、必ず羊水染色体 G-bandで最終判定ください。

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。  
検査者 本山サチエ 責任者 瀧口正隆  
報告者 高野貴子 標本 No. D200003-4D0002

報告 02年 12月 07日  
SIRL 株式会社 エスアール  
〒113-8501 東京都荒川区西日暮里5丁目1番10号  
電話 (042) 646-5911 和国かおり

<現報告書見本>

**SIRL 染色体検査報告書(中間報告書)FISH** 20-12-03 0030-00-03000-02920

病院名 I17-A11 LUSTER HP 院 科 産科 (外来) 提出医 杉野 先生 受付 02年 12月 03日  
カルテ No. 4567891011

氏 名 杉野 12990018- 院 科 産科 4L2F 受付 No. 000108  
性別 女 年齢 30才 検査 No. 4SS0000200 検査番号 003-4SS00002

検査番号 711202012 3954GF 院 科 産科  
性別 女 年齢 30才 検査 12月 03日

【検査項目】 ケアG-BAND-FISH 妊娠週数 週 日  
【検査方法】 FISH  
【使用7-プローブ】 AneuVysion・DNA Probe kit (No.13・No.18・No.21・X・Y)  
プローブ販売元: Abbott Molecular Inc.

【検査所見】  
(シグナル検出状況) 染色体番号 13 18 21 X Y 細胞数  
シグナル 2 2 2 2

【総分析細胞数】 各プローブについて 100 細胞  
【検査コメント】  
13番、18番、21番、X染色体のシグナル数は正常範囲でした。

<注意事項>  
羊水 FISHは 13番、18番、21番染色体および X、Y染色体の蛍光プローブを用い異数性の有無を判定いたします。この方法は、短期間で結果が得られますが使用プローブ以外の異数性、構造異常については判定できません。検査結果の解釈については、必ず羊水染色体 G-bandで最終判定ください。

染色体検査で用いられる代表的な記号と略語、核型記載は右記URLをご参照下さい。  
検査者 本山 瀧口 高野

報告 02年 12月 07日  
SIRL 株式会社 エスアール  
〒113-8501 東京都荒川区西日暮里5丁目1番10号  
電話 (042) 646-5911 和国かおり